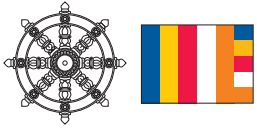


ZENBUTSU



全仏

No.
586

仏暦2556年1月
[2013年]



修正会行事の一つである鬼追式の模様—比叡山延暦寺 根本中堂前

目次	年頭特別インタビュー (半田孝淳 会長 聞き手 小林正道 理事長).....	2
	平成24年度 加盟団体顧問弁護士連絡会 開催案内.....	4
	平成24年度 第2回人権問題連絡協議会開催のお知らせ.....	4
	シンポジウム いのちと原子力② 開催案内.....	5
	救援基金より第5次支援金拠出に関するご案内.....	5
	平成24年度 第2回理事会開催報告.....	6
	税務調査等の対応について.....	6
	「朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨返還問題」に関する連絡協議会を開催.....	7
	第34回 埼玉県佛教徒大会 開催.....	7
	第47回 大阪府佛教徒大会 開催.....	8
	東京都仏教連合会主催 第24回成道会の集い 開催.....	8
	全日本葬祭業協同組合連合会と懇談会.....	18
	「花まつり」ポスターのご案内.....	20

公益財団法人

年頭特別インタビュー

半田孝淳 会長 聞き手 小林正道 理事長

新年を迎えるにあたり、本会会長である半田孝淳天台座主に、昨今の日本の現状に鑑み、これからの僧侶としての役割について伺いました。

小林理事長(以下 理事長) 会長に

おかれましてはご機嫌麗しく新年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。本年も宜しくお願いいたします。早速ですが、新年にあたりまして、混沌としている現代社会において、特に環境問題、格差社会の問題、自死の問題について、僧侶の役割とは何かご教示いただきたく存じます。

半田会長(以下 会長) 新年は「おめでとう」と挨拶を交わし、皆で一緒に心を新たに迎えるわけですが、最近は春夏秋冬がはつきりしなくなり、正月行事も皆と一緒に喜び合う気持ちが薄れてきた感があります。新しい年を迎え、過ぎし年を振り返り、これからどう生きていくのかを皆と一緒に



小林正道 師 全日本仏教会 第30期理事長
浄土宗 妙定院 住職 (東京)

量生産」「大量消費」「大量廃棄」という近代工業文明は物質的な豊かさをもたらしました。とはいえ限りある資源を無駄遣いしてゴミの山を築いて自然や環境を破壊し、それを豊かさとして錯覚しているのは嘆かわしいことです。日本語には「もったいない」という言葉があります。それはそれ

その存在の尊さを無駄にすることを惜しむ言葉です。今こそ「もったいない」を日々の生活の行動基準とし、「少欲知足」のライフスタイルを作っていくかねばなりません。

東日本大震災という大災害に身も心も大きなショックを受けました。この災禍に対して国内でも様々な支援が全国各地から差し伸べられました。忘れかけていた「相手を思いやる」という精神が再び芽生え、それがそれぞれの救援活動となったのだと思います。

理事長 まさにその通りだと思います。それではまず、環境問題について会長のお考えをお教えください。

会長 大きな問題ですね。私たちは長い年月の中で自然と共に生き、多くの恵みを受けました。しかし科学技術の発達によって、私たちの考えに大きな変化が生まれました。たとえば昔は山という神聖な地に入るときは「六根清浄」と唱え、我が身を清めながら山頂をめざし、「ありがたい」という気持ちでご来光を拝むのが、日本人の精神であったと思います。あらゆる科学技術の発達は、今まで人の手が加えられなかった自然に対して、克服という扉を開けることになりました。でも大自然に畏敬の念を抱かない、人間の傲慢とも思える行動は慎むべきであります。この度の大地震による大津波により、原子力発電所からの放射能漏れが起こってしまいました。科学技術の長足な進歩による過信があったのではないのでしょうか。それについて、私たち(仏教者)は「共に生

きる」という考え方を、布教・伝道において怠っていたのではないのでしょうか。ここは反省をしなければならぬと思います。自然の恵みを我々人間が覆してしまったように思います。原発からの脱却、それに替わるエネルギー問題など様々な課題がありますが、日本人の叡智を結集して取り組むにあたり、そこに環境の清浄化（浄化）という点を踏まえていかなければならないと思います。

理事長 また一方で、残念ながら格差が広がっているように感じます。この格差社会について、どのようなことを感じていらっしゃいますか。

会長 たびたびヨーロッパで開催された宗教者会議に参加してきましたが、ある時ケニアの方に「なぜアフリカ人とアメリカ人の間にこんな格差（貧富の差）があるのか。同じ人間として生まれたのに不平等ではないか」と言われたことがあります。弱者がいれば強者がいるわけです。弱者がいれば救済しようとする心は皆持っているわけでは

るわけでは。そうでなければ平和はこないわけであり。お互いがエゴを通せば戦争になります。この世の中で「いのち」以上に大切なものはないわけですから、いまだに世界から戦争がなくならないのは残念でなりません。相手



半田孝淳 狛下 全日本仏教会 第30期会長
第256世 天台座主

ない現状について、どのようにお考えかをお聞かせください。
会長 まず自死者がでることに深く心を痛めております。当山（比叡山）でも自死者のご冥福を祈っております。昔は、赤ん坊が生ま

れば皆で喜び、感謝の気持ちを近所の氏神さまなどに、生まれてきてくれたお礼をしたものです。「子を授かった」という感覚であります。しかし世の中が変わり、個々が主張されて「俺は俺、親は親」になってきました。放任もあれば、その逆の親離れ子離れで

思いやる気持ちが格差をなくす第一歩だと思えます。私たちは一人で生きていきません。お互い譲り合い、他人を思いやるのが大事であります。
理事長 それでは自死について伺いたいします。自死者数が減ら

きないご家族もいらっしゃいます。日頃から親子がきちんと話をしているのでしょうか。友達ともきちんと話しているのでしょうか。その替わりがメールになってしまったと思えます。これでは相手の気持ちを理解することができないので

はないでしょうか。相互理解が必要なのではないのでしょうか。布教・伝道において崩壊した人間の絆を取り戻すよう、私たちが努めなければならぬと思います。
理事長 被災地支援活動を機縁として、僧侶が一般の方々やマスメディアから評価されております。これについては僧侶に対してもっと自信を持って活動せよというシグナルにも思えます。この事象について一言お願いいたします。

会長 この度の若い僧侶たちの積極的な支援活動に対して嬉しく思っております。これからは被災者の方々のお気持ちに寄り添い、心のケアに努めて欲しいと思います。私たちが団結して疲弊している方々の救済にあたってほしいと思います。

理事長 ありがとうございます。仏教界が一致団結してそれぞれの智慧を出し合って行動に移すことが大切だと思います。今年も私たち僧侶に対しまして、ご教示いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

平成二十四年度 加盟団体顧問弁護士連絡会

テーマ：国税通則法の改正について

同年、年度末に本会が開催している加盟団体顧問弁護士連絡会では、本会加盟の団体に所属する顧問弁護士が集まり、時局の問題に対する協議や情報交換を行っています。

本年度は平成二十五年二月七日（木）に、東京の浅草寺（東京都台東区 聖観音宗務所内）において開催を予定しています。今回の連絡会は二部構成で行う予定で、第一部は、税務の専門家である白鷗大学の石村耕治教授をお招きし、平成二十五年一月一日より改正される国税通則法に関してご講演いただきます。今後この改正による寺院への影響や、予想される税務問題に対してどのような対応を行うべきなのかといった具体的なお話しをいただく予定です。

続いて第二部では、長谷川正浩本会顧問弁護士の進行のもと、この問題に対して参加される各弁護士と石村教授との質疑応答を中心に、今後の具体的な対応を協議できるような内容となるよう準備を進めております。

今回のテーマとなる改正国税通則法は、非違が疑われる場合の無

通告質問検査や、調査において提出した物件の留置き等が可能とも受けとめられる文言が加わり、さらにはこうした書類の提出を拒否した場合の罰則についても明記されています。

今後、所管の税務署の質問検査にどのような変化を及ぼすのかは現時点では不明ですが、寺院における質問検査の際、檀信徒名簿や過去帳等の個人情報を含めた物件の提出を税務署に求められた場合、個人情報保護法等、他の法律に抵触する可能性もあります。この問題は、実際調査を行う各所管の税務署が、この改正国税通則法をどのような解釈で運用するかによって、寺院に与える影響は大きく変化するものと考えられます。本会では、早急に本問題の協議を行い、税務調査に対する対応と認識しています。

国税通則法 ↓（こくぜいとうそくほう、昭和三十七年四月二日法律第六十六号）は、国税に関する一般法で、国税の納付義務の確定、納付、徴収、還付、附帯税、更正、決定、不服審査、訴訟など共通事項をまとめた法律。平成二十三年度税制改正に伴い改正され、平成二十五年一月一日より施行される。

平成二十四年度 第二回人権問題連絡協議会開催のお知らせ

本年は東日本大震災発生より、早くも丸二年を迎えますが、克服すべき問題は山積されており、真の復興はまだ先のことです。特に福島県では、東電福島第一原発事故による放射能の影響で、計画的避難地域の方々は、いつ終わるともわからない避難生活を余儀なくされており、個人レベルのみならず、国をはじめとする自治体や、さらには諸団体の幅広い支援が必要です。

しかし、本会に寄せられるボランティア活動支援金申請件数は徐々に減少し、マスコミ報道等からも、放射能の影響に関する記事が減りつつあるようです。加えて被災地で現在起きているさまざまな事象、特に今後対策が必要と想定されている人権問題については、的確な情報を得る機会が限られているように感じます。

風評被害が広がっています。福島県内の農業、酪農、漁業、旅館等に従事する方にとっては復興と合わせて自活の道に希望を持つことも危ぶまれています。又、福島県出身というだけで就職や結婚に障害が及ぶ事例も報告されています。

そこで曹洞宗人権啓発相談員、

同宗千葉宗務所所長を歴任された、千葉県成田市の長寿院住職の篠原鋭一師をお招きし、「福島原発被害者の声を通じて見えたもの」（仮題）と題してご講演をいただきます。篠原師は、法務のかたわら、自殺志願者を救済する活動や、生きることをテーマに全国で多数の講演をされるなど、幅広く活躍されています。また被災地における人権問題についても、調査を実施されております。

今回の協議会は、講演後に参加者とともに意見交換をすることで、宗教者の今後の活動や、宗教団体における今後の人権施策に反映させることを目的として開催いたします。参加対象者は加盟団体人権担当者、賛助会員、マスコミ関係者でございます。

開催日：二〇一三（平成二十五年）

二月十九日（火）

午後二時～四時

会場：西山浄土宗総本山光明寺

（京都府長岡京市粟生西条ノ内二十六番一号）

（詳細につきましては、
社会人権部にお問い合わせ下さい）

シリーズ

いのちと原子力²

放射能被害とは

福島第一原子力発電所事故による被ばくを考える
—— シンポジウム開催案内 ——

福島第一原子力発電所事故によ

り、被災者の方々は現在も様々な困難に直面しています。本会では平成二十三年十二月に宣言文「原子力発電によらない生き方を求めて」を発信し、福島原発事故を契機に提起された原子力問題を共に考えるため、シンポジウム「いのちと原子力」シリーズを企画・開催しています。

一回目のシンポジウムでは、「原子力発電とは」と題し、福島原発事故の原因について考えました（機関誌『全仏』五八二号〜五八四号に掲載）。今回のシンポジウムでは、テーマを「放射能被害とは」とし、福島原発事故による放射能被害が「いのち」にどのような影響を与えるのかについて、一般報道とは違った側面から各パネラーに語っていただきます。

福島第一原子力発電所から十七

キロ地点にある福島県南相馬市小

高区同慶寺の住職である田中徳雲氏には、事故により寺院も檀信徒も避難を余儀なくされた実情をご報告いただきます。人体への内部被ばくの影響等、放射能問題に関する映画製作を手がける鎌仲ひとみ氏と、放射線被ばくに関する研究を続けている医師の松井英介氏には、放射能が人体にどのような影響を及ぼす懸念があるのかについて語っていただきます。

第一回シンポジウムの会場アンケートでは「仏教界独自の視点や活動」への期待を寄せるご意見も多く寄せられた事を受け、宣言文を発信した当時の本会事務総長、戸松義晴氏をコーディネーターに迎え、「いのちと原子力」に仏教がどう関わっていけるのか、参加者の皆様とともに探りたいと思います。

開催概要

期 日 二〇一三(平成二十五)年

三月八日(金) 午後六時

開演 (午後五時十五分開場予定)

会場 損保ジャパン本社社会議室

定員 二百五十名

(申込み先着順 参加費無料 参加可否の結果は電話にてご連絡いたします)

パネラー

鎌仲ひとみ氏 (映画監督)

松井英介氏 (岐阜環境医学研究所所長)

田中徳雲氏 (曹洞宗 福島県同慶寺住職)

コーディネーター

戸松義晴氏 (浄土宗総合研究所主任研究員)

申込みについて

申込みは一月中旬より受付いたします。本会ホームページよりお申し込みいただくか、申込み用紙を本会ホームページより印刷し、FAXにてお申し込みください。※詳細は全日本仏教会ホームページをご覧ください。

<http://www.jbfn.jp>

お問い合わせ先

全日本仏教会 社会人権部

TEL 〇三三四三三七九二七五

FAX 〇三三四三三七三二六〇

救援基金より第五次支援金拠出に関するご案内

本会では救援基金より、被災地での支援活動に当たっている団体に支援金を拠出させていただきます。第五次支援では、第四次支援と同様、「被災地の子供たちを受け入れる活動」等も対象といたします。

一、申込期間

平成二十五年三月三十一日(日)まで

二、支援対象

・被災地支援団体(平成二十四年十二月一日から平成二十五年三月三十一日までに活動したもの)

・避難者受入寺院(まだ申請をされていない寺院)

三、支援金額

一 団体につき十万円
その他、申込に関する詳細及び申込み用紙は本会ホームページをご覧ください。

全日本仏教会ホームページ

<http://www.jbfn.jp>

平成二十四年度 第二回理事会開催報告

十一月二十日午後二時より、京都市東山区にある浄土宗事務庁の三階講堂において、二〇一二（平成二十四）年度第二回理事会が開催された。

出席者は以下の通り。

出席理事 二十名中十八名出席
小林正道、河村松雄、池田行信、不破 仁、駒野教源、庄野光昭、松山英照、杜多徳雄、近藤昌俊、粕谷利通、森田俊朗、岡野正純、桶屋良祐、石堂恵眼、山田一眞、本間孝康、吉田教行、長澤香静、出席監事 三名中三名出席
井桁雄弘、古澤勝浩、山中一郎
(順不同 敬称略)

定款に従い、小林正道理事長が議長を務め、出席した監事三名と共に議事録署名人となった。

議案第一号【諸規程改正について承認を求める件】

議長が上程し、事務総局が「加盟団体入会及び退会等に関する規程」新設案及び「WFB（世界仏教徒連盟）日本センター運営委員会規程」一部改正案についての説明を行った。質疑応答の後この賛否を諮ったところ、全員異議なく原案通り「加盟団体入会及び退会等に関する規程」新設案及び「W

FB（世界仏教徒連盟）日本センター運営委員会規程」一部改正案を承認した。

議案第二号【加盟について承認を求める件】

議長が上程し、事務総局が、社団法人在家仏教協会からの加盟申請について説明を行った。また古澤監事が、推薦団体のひとつである、財団法人仏教伝道協会を代表して補足説明を行った。理事より歓迎の意が表されたのちこの賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。

協議事項第一号【平成二十五年度事業計画大綱について賛同を求める件】

議長が上程し、事務総局が説明を行った。また関連して、庄野理事が、第四十二回全日本仏教徒会議高野山大会についての概要説明を行った。賛否を諮ったところ、全員より賛同を得た。

協議事項第二号【平成二十五年度予算大綱について賛同を求める件】

議長が上程し、事務総局が説明を行い、賛否を諮ったところ全員より賛同を得た。

協議事項第三号【その他】

議長が上程し、事務総局が「税

務調査等の対応について」及び「東日本大震災で被災した寺院の復興のための指定寄附金制度について」の説明を行った。また長谷川顧問弁護士及び山中監事が「税務調査等の対応について」の補足の説明を行った。質疑応答の後、加盟団体の宗報及び機関誌への掲載協力による関係寺院への情報周知を行うこととなった。

報告事項第一号【各部報告】

奈良総務部長が「福島復興再生基本方針」に対する復興庁からの

回答及び関連する事項について、大辻社会人権部長が今後の事業予定について、鈴川国際部長がWFB（世界仏教徒連盟）の世界仏教徒会議韓国大会について、併せて合同役員会議の予定についてを、それぞれ資料に基づき報告した。また鈴川国際部長が二〇一二（平成二十五）年一月開催の世界経済フォーラム（通称ダボス会議）への招請

状が届いたことを口頭で報告した。活発な審議で予定時刻を大幅に過ぎ、午後四時三十分閉会した。

税務調査等の対応について

～今まで以上に適正な申告・帳簿書類の整備が求められます～

国税通則法が、二〇一三（平成二十五）年一月一日に改正施行されます。それにより税務調査権が明確化されました。

- ・ 事前通知
- ・ 質問回答、帳簿書類の提示、提出、留置（罰則あり）
- ・ 取引先等の調査
- ・ 調査結果説明
- ・ 更正、決定の通知
- ・ 再調査 等

これにより、宗教法人への税務調査の厳格化や、帳簿書類整備の必要性が、今まで以上に求

められてくると予想されます。各宗教法人におかれましては、一、適正な申告
二、帳簿書類の整備
を再度ご確認ください。

なお、法定外文書と呼ばれる税務署からの『お尋ね』（任意回答）文書につきましては、従来通り回答は義務ではありません。慎重に対処をされるようお知らせいたします。

詳しくは、各加盟団体に送付いたしました「全仏だより」をご覧ください。

「朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨返還問題」に関する連絡協議会を開催

十月二十六日、明照会館第二会議室にて標記連絡協議会が開催され、各加盟団体の人権関係担当者、政府各省庁、事務総局あわせて三十名が出席した。

平成十六年十二月の日韓首脳会谈を機に、政府から本会に対して朝鮮半島出身の旧民間徴用者等の遺骨に関する情報提供の協力要請があった。そこで本会より各加盟団体を通じて、寺院に情報提供の協力を求め、その情報をもとに厚生労働省が実地調査を実施した。結果は政府にも伝えられたが、外交上の問題等を理由に遺骨は未だに一体も返還にはいたっていないとの報告があった。

今回の協議会は平成二十三年二月十日以来の開催で、厚生労働省 亀島哲人道調査室室長、外務省森本康敬日韓交流室長が主に遺骨返還の進捗に関して説明をしたが、前回開催から進展がない上、説明も充分とは言えず、今後の展望も

見えない状況に批判が集中した。

本会及び加盟団体担当者からは、早く遺骨返還に関して何らかの道筋をつけてもらいたい、という強い要望とともに、実地調査に協力頂いた寺院に何の報告も出来ず非常に困惑している事、また、国家間で進展がないのであれば、民間での交渉も視野に入れざるを得ないと考えている事等の意見が伝えられた。

今後は政府関係各省と協力し、本会及び加盟団体への報告等コミュニケーションの改善を約束し閉会となった。



内閣官房、外務省、厚生労働省、文化庁ら関係各省から現況説明が行われた

第二十四回 埼玉県佛教徒大会 開催 大会テーマ「彩の国『希望のひびき』」

〜被災地復興の祈りを彩の国から〜

標記大会が十一月七日、所沢文化センターM3にて開催された。

埼玉県佛教会は県内寺院・教会の連携を深め、活発な仏教運動を通して仏の教えを広め、社会の浄化や文化の向上に寄与することを目的としている。佛教徒大会は、その活動の一環で、埼玉県佛教会と県内各市町村の仏教会が協力し、年一回県内各地で開催している。

今回の佛教徒大会は所沢地区と入間東部地区が主管となり、昭和六十一年の第九回大会以来、所沢では二度目の開催となる。

まず記念法要が執り行われ、大会実行委員長の木村盛雄師による導師のもと、参加者一同で唱和した。引き続き本会副会長の萩野映明埼玉県仏教会会長が挨拶した。

萩野会長は、この大会が東日本震災支援の一助になることを願う旨のお話しをされた。次に本会を代表して関崎幸孝事務総長が挨拶を行った。続いて所沢市長藤本正人氏から、宗教の重要性和、仏教界に対し広く一般社会へ指導的役割を

果して欲しいとの挨拶がなされた。

休憩後、福島県伊達市真言宗豊山派円福寺住職の石井祐聖師から「心の復興」と題して記念講演が行われ、「被災して何と何を失ったというのではなく、何と何が残ったという考え方の転換が大切で、心が変われば生活が変わり、ささやかながらも幸せを感じることが出来る」というお話しがあった。

再度の休憩後、真言宗豊山派僧侶二十人以上による約一時間にわたる厳かな聲明と、太鼓奏者の上田秀一郎氏による演奏が行われ、太鼓に合せて般若心経が勇壮に進められた。会場には約六百五十名の方々が集まり、大会は盛会のうちを終了した。



第四十七回 大阪府佛教徒大会 開催 東日本大震災物故者追悼法要／大阪府佛教会会員物故者追悼法要

十一月二十八日にホテル日航大阪にて、大阪府佛教会及び大阪府佛教青年会主催で、第四十七回大阪府佛教徒大会が開催された。当日は約三百名の参加者が集まった。大阪府佛教会は各宗派の垣根を越えて約二千三百の寺院で構成され、大阪府佛教会加盟の各仏教会においても各々企画事業が実施されている。

第一部では本会監事の井桁雄弘府仏会長導師による「東日本大震災物故者追悼法要並びに大阪府佛教会会員物故者追悼法要」が執り行われた。その後の式典では、大阪府内住職就任三十年の表彰と、本会を代表して半田孝淳会長の祝辞を関崎幸孝事務総長が代読した。続いて融通念佛宗総本山大念佛寺倍巖良舜管長、浄土宗総本山知恩院貴田善證執事がそれぞれ祝辞を述べられた。

第二部は「東大寺の大仏に込められた祈り」と題して奈良国立博物館学芸部長西山厚氏の講演が行われた。西山氏は、当時は政変・

飢饉・地震・疫病等の暗澹たる時代であり、そのことを政権責任者である聖武天皇は、自らの責任として懊悩され、辿りついた結論が大仏建立だったとした。聖武天皇は深く「華嚴経」に学ばれ、その精神に基づいて「大仏造立の詔」が発せられたが、そこには驚くことに「動植（ことごとく）榮えむとす」とあり、人間だけでなく動物も植物も共に栄える世にしたいと願われている。そして多くの人々の力が結集されて大仏及び大仏殿が完成し、その後二度の火災により焼失したが、その都度重源上人や公慶上人の献身的な努力により再建され、現在に至っていると話された。

第三部の記念祝賀会では更に増えた参加者及び関係者と共に懇親が深められ、大会は盛會裡に終了した。



東京都仏教連合会主催 第二十四回 成道会の集い 開催

十二月六日午後一時より、よみうりホール（東京都千代田区）にて第二十四回成道会の集いが開催され、本会より関崎幸孝事務総長と田代弘尚社会人権部次長が出席した。一般参加者含む約七百名が参加した。以前は九段会館で開催されていたが、東日本大震災の影響で昨年と同ホールで開催されることとなった。

開会后、式典では丹波慈祥東京都仏教連合会会長を導師として法要が執り行われ、後援団体である全日本仏教婦人連盟有志の手により献灯・献花・献香が行われた。

法要終了後、第一部では安田映胤国際仏教交流協会理事長（薬師寺長老）により「いかに生きるか―心のまほろばを求めて―」と題した講演が行われ、自身の生い立ちと積尊の生涯を照らし合わせながら、一般の方にも分かりやすく積尊の悟りについて語られた。

続いて第二部では、書家でNHK大河ドラマ『平清盛』の題字を手掛けた金澤翔子さんの母親で同

じく書家の金澤泰子さんによる「天使がこの世に降り立てば―ダウン症の子どもと母が歩んだ二十年―」と題した講演が行われた。金澤さんはダウン症の娘と共に生きた人生を振り返り、暗闇の中にも必ず光がある、こうして今を迎えているのも娘のおかげだと語り、会場では感動し涙する参加者も見られた。

講演後、娘の翔子さんもステージに登場し、ダンスを披露するなどし、参加者を楽しませた。

閉会の挨拶では、山田一眞東京都仏教連合会理事長が、両者の本日の講演内容を受け、命の大切さを参加者へ訴え閉会した。



謹賀新年

曹洞宗宗務庁

管長 福山 諦法

宗務総長 佐々木 孝一

参議 羽仁 素道

参議 梅田 泰隆

伝道部長 齋藤 裕道

人事部長 中野 重哉

教学部長 千葉 省三

総務部長 坂野 浩道

教化部長 小島 泰道

出版部長 砂越 隆侃

財政部長 伊藤 道宣

東京都港区芝二丁目一丁目
〒105-8544 〇三(三四五四)五四一一
<http://www.sotozen-net.or.jp>

浄土真宗本願寺派

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 総合テーマ

そっせつながる ホッがつたわる 

～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

An embracing link transmits a feeling of comfort -From tying bonds to great encounters-

京都市下京区堀川通花屋町下ル
浄土真宗本願寺派 伝道本部(宗務所)
〒600-8501 〇七五(三七二)五一八一
FAX 〇七五(三五二)一一二二

真宗大谷派

宗務総長 里雄 康意

参 首 推
都 進
園 本
教 部
化 長
務 長

参 青
少 幼
年 年
務 務

参 財
務 務
長 長

参 推
放 進
運 本
動 部
務 長

参 儀
式 式
指 指
導 導
長 長

京都市下京区烏丸通七条上ル
常葉町七五四
〒600-8505 〇七五(三七二)九一八一
<http://www.higashihonganjou.or.jp/>

浄土宗

浄土門主 伊藤 唯眞

宗務総長 豊岡 鎌尔

総務局長 中村 在徹

教学局長 山本 正廣

財務局長 浦野 瑞明

社会国際局長 宮林 雄彦

文化局長 岡本 宣文

総長公室長 浅野 義光

人権同和室長 山北 光彦

宗祖法上人八郎
大速忌事務局長
武田 和清

職 新
員 谷
一 仁
同 海

浄土宗宗務庁
京都市東山区林下町四〇〇一八
〒605-0062 〇七五(五二五)二二〇〇代
FAX 〇七五(五三二)五一〇五
東京都港区芝公園四丁目一丁目
〒105-0011 〇三(三四三六)三三五一代
FAX 〇三(三四三四)〇七四四
<http://www.jododo.or.jp/>

日蓮宗

管長 内野 日絵

宗務総長 渡邊 照敏

伝道局長 齊藤 憲一

総務局長 塩崎 望巳

伝道部長 中井 本秀

教務部長 川口 久雄

総務部長 池田 弁岳

財務部長 川口 智康

宗務総長 渡邊 義生

現 研
代 究
宗 所
教 長

参 参
与 与
吉 渡
田 邊
海 一
心 之

東京都大田区池上一丁目三十一番五
〒146-8544 〇三(三七五)七一八一
FAX 〇三(三七五)七一八六
<http://www.nichiren.or.jp/>

日蓮宗新聞社
社長 村上 俊正

謹 賀 新 年

天台眞盛宗宗務所
総本山山西教寺

貫首 西村 冨紹

宗務総長 川合 歳明

庶務部長 喚阿 宏道

教学部長 別所 泰広

社会部長 竹澤 良全

財務部長 色井 秀宰

滋賀県大津市坂本五―三―一
〒520-0113 〇七七(五七八)〇〇一三
FAX 〇七七(五七八)三四一八

和宗
総本山四天王寺

管長 奥田 聖應

執事長 森田 俊朗

執事 瀧藤 尊淳

執事 南谷 恵敬

執事 塚原 昭應

執事 出口 隆順

執事 吉田 明良

執事 坂本 峰徳

大阪府大阪市天王寺区四天王寺一丁目十一番十八号 和宗宗務所
〒543-0051 〇六六(七七)〇〇六六
FAX 〇六六(七七)三三九二
<http://www.shiennojior.jp>

総本山仁和寺
眞言宗御室派

管門長 跡南 揚道

執行総長 瀬川 大秀

執行総長 河西 孝典

執行総長 大西 智城

執行総長 藤橋 千秋

仁和伝法所 添野 智讓

仁和密教学院 林 俊仁

京都市右京区御室大内三三三
〒616-8092 〇七五(四六)一一五五
FAX 〇七五(四六)四〇七〇
<http://ninna.jp>

眞言宗醍醐派宗務本庁
総本山醍醐寺寺務所

座管主長 仲田 順和

宗務総長 壁瀬 宥雅

執行総長 仲田 順英

教学部長 田中 祐考

財務部長 浦郷 宜右

京都市伏見区醍醐東大路町二二
〒601-1325 〇七五(五七)〇〇〇二
FAX 〇七五(五七)〇一〇一
<http://www.daisoji.or.jp>
携帯電話でも御覧頂けます。



融通念佛宗
総本山大念佛寺

法管主長 倍巖 良舜

宗務総長 吉村 暁英

教学部長 中江 慈光

庶務部長 岡田 眞澄

財務部長 北川 全宏

大阪市平野区平野上町一―七―二六
〒547-0045 〇六(六七)九二〇〇二六
FAX 〇六(六七)九三三〇五〇
<http://www.dainenbutsuji.com/>

年 新 賀 謹

<p>東京都中央区日本橋 人形町二一九一 〒103-0013 ○三(五六)四三〇五五 FAX ○三(五六)四三〇五六 http://www.hokkeshu.or.jp</p>	<p>責任役員 松本義仙</p>	<p>責任役員 金井孝顕</p>	<p>責任役員 齋藤舜駘</p>	<p>責任役員 久永晃顕</p>	<p>責任役員 佐藤義賢</p>	<p>代表役員 二瓶海照</p>	<p>管 長 小西日遼</p>	<p>法華宗(本門流)</p>								
<p>東京都豊島区巣鴨五三三五六 〒170-0002 ○三(三九)七二九〇 FAX ○三(三九)七二九〇</p>	<p>企画部長 山岸観深</p>	<p>財務部長 金原孝宜</p>	<p>教化部長 今井満良</p>	<p>教学部長 布施義高</p>	<p>総務部長 牧野秀成</p>	<p>宗務総長 佐古弘文</p>	<p>管 長 石丸日然</p>	<p>法華宗(陣門流)</p>								
<p>さいたま市浦和区高砂 四一三二一八 〒330-0063 ○四(八六)二一三八 FAX ○四(八六)六六四九 http://sanbutsu.net/</p>	<p>事務局長 金子嘉広</p>	<p>同 条原恒久</p>	<p>同 杉村良哉</p>	<p>同 加藤玄静</p>	<p>専務理事 深谷雅良</p>	<p>同 倉持秀裕</p>	<p>副会長 木村盛雄</p>	<p>会 長 萩野映明</p>								
<p>横浜市中区大平町九六 西有寺内 〒231-0859 ○四(五六)一〇一六六</p>	<p>事務局長 吉水智栄</p>	<p>同 丸山邦雄</p>	<p>同 木内雍明</p>	<p>同 都築哲信</p>	<p>副会長 和田大雅</p>	<p>会 長 本間孝康</p>	<p>神奈川県仏教会</p>									
<p>京都市下京区堀川通花屋町下ル 本願寺門前町本願寺事務所内 〒600-8501 ○七(三七)五一八一</p>	<p>事務総長 和田隆行</p>	<p>監 事 赤塚高明</p>	<p>同 鷲山靖之</p>	<p>同 永安宣明</p>	<p>同 村山孝純</p>	<p>同 赤田泰宏</p>	<p>同 日下俊精</p>	<p>同 久保敬童</p>	<p>同 藤井照源</p>	<p>同 壁瀬宥雅</p>	<p>同 小宮一雄</p>	<p>同 松井宗益</p>	<p>同 北川一有</p>	<p>同 理事 里雄康意</p>	<p>同 理事 北畠典生</p>	<p>京都府仏教連合会</p>

年 新 賀 謹

大阪府佛教会

会 長 井 桁 雄 弘
(浄土宗 大圓寺)

副 会 長 森 田 俊 朗
(和宗 四天王寺)

同 北 村 日 照
(日蓮宗 櫛笥寺)

同 村 山 廣 甫
(曹洞宗 東光院)

同 森 快 隆
(真言宗 葛井寺)

事 務 局 長 二 上 寛 弘
(真言宗 釋迦院)

事 務 局
大 阪 市 港 区 築 港 一 一 三 一 三
〒 552-0021 〇六(六五七)五七一〇
釋 迦 院 内

和歌山県仏教会

会 長 前 田 定 戒
(浄土宗 廣原寺)

副 会 長 武 内 龍 雄
(日蓮宗 本行院)

同 岩 谷 杖 忍
(法華宗 久成寺)

同 西 溪 光 照
(西山浄土宗 稱念寺)

事 務 局 長 柳 瀬 智 明
(高野山真言宗 惣光寺)

和 歌 山 市 西 高 松 一 一 一 二 三
〒 641-0051 〇七三(四二六)〇四三四
平 和 会 館 内
F A X 〇七三(四三三)八三二二

財団法人 仏教伝道協会

会 長 沼 田 智 秀

理 事 長 福 山 諦 法

理 事 長 木 村 清 孝

同 上 山 大 峻

同 桂 紹 隆

同 門 脇 邦 彦

監 事 中 野 東 禪

同 野 村 邦 武

〒 108-0014
東 京 都 港 区 芝 四 丁 目 三 一 一 四
電 話 〇三(三四五五)五八五一
F A X 〇三(三七九八)二七五八
<http://www.bdk.or.jp>

金峯山修験本宗 総本山金峯山寺

管 長 五 條 覺 堯

宗 務 総 長 田 中 利 典
執 行 総 長

奈 良 県 吉 野 郡 吉 野 町 吉 野 山 二 四 九 八
〒 639-3115 〇七四六(三三)八三七一
F A X 〇七四六(三三)四五六三
<http://www.kinpusen.or.jp>

宗教法人 念法真教

總 本 山 金 剛 寺

大 阪 市 鶴 見 区 緑 三 一 四 一 二 二
〒 538-0054 〇六(六九一一)二二〇一
<http://www.nenpoushinkyou.jp/>

真言宗国分寺派 大本山国分寺

管 長 合 田 和 教

宗 務 総 長 糟 谷 眞 教

大 阪 府 大 阪 市 北 区 国 分 寺
〒 531-0064 〇六(六三三)五六三三
<http://www.kokubun.josakajapan.com>

真言三宝宗 大本山清澄寺

法 管 主 長 坂 本 光 謙

宗 務 長 岡 田 康 秀

執 行 長 有 井 良 隨

鐵 齋 美 術 館 長 森 藤 光 宣

宝 塚 市 米 谷 字 清 一 番 地
〒 665-0837 〇七九七(八六)六六四一
F A X 〇七九七(八六)六六六〇
<http://www.kiyoshikojin.or.jp>

年 新 賀 謹

信貴山真言宗
総本山朝護孫子寺

管 長 鈴木貴晶

前管長 田中真瑞

長 老 鈴木風永

宗務長 野澤密孝

奈良県生駒郡平群町信貴山

〒636-0923 〇七四五(七二)二七七

真宗高田派

宗務総長 青木真暁

総 務 藤森邦夫

総 務 藤山真哉

三重県津市一身田町二八一九番地
〒514-0114 〇五九(三三三)四一七一
FAX 〇五九(三三三)一四一四

黄檗宗

管 長 岡田亘令

宗務総長 浅井聖道

萬福寺禪堂師家 近藤博道

京都府宇治市五ヶ庄三番割三四

〒611-0011 〇七七四(三二)三九〇〇
FAX 〇七七四(三二)六〇八八

顕本法華宗

管 長 中村日玄

宗務総長 朝倉俊幸

京都市左京区岩倉幡枝町九十一
〒606-0015 〇七五(七九)七二七一
FAX 〇七五(七九)七二六七

本山門宥清寺

講 有 山内日開
宗務総長 木村日覚

本山宥清寺
〒602-8336 京都市上京区一条通七本松西入
滝ヶ鼻町一〇〇五番地の一

TEL 〇七五(四六三)四六六一
FAX 〇七五(四六三)四六六一

本門佛立宗 宗務本庁
京都佛立ミュージアム

TEL 〇七五(二八八)三三四四

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る
東堅町一〇番地

TEL 〇七五(四六一)一六六代
FAX 〇七五(四六四)五五九九
URL <http://www.honnon-butsuryushuor.jp/>

華嚴宗
大本山東大寺

華嚴宗管長 北河原公敬
東大寺別当

奈良市雑司町四〇六一
〒630-8587 東大寺内 華嚴宗宗務所
FAX 〇七四(二二二)〇八〇八

真言律宗
総本山西大寺

真言律宗管長 大矢實圓
総本山西大寺長老

奈良市西大寺芝町一丁目一の五
西大寺内 真言律宗宗務所
〒631-0825 〇七四(二四五)四七〇〇
FAX 〇七四(二四五)四七二〇

福島県仏教会

会 長 丹治宥勝

専務理事 八幡龍法

事務局長 豊島宗樹

福島県福島市松川町字町裏三五
西光寺内
〒960-1241 〇二四(五六七)二三六一
FAX 〇二四(五六七)三二二一

東京都仏教連合会

会 長 丹羽慈祥

理事長 山田一眞

事務局長 新倉典生

東京都足立区梅田一―二十六―十
善立寺内
〒123-0851 〇三(三八八)一三六七
FAX 〇三(三八八)八二五二

愛知県仏教会

会 長 吉田教行

副会長 田畑修身

同 伊藤正導

同 岩木涼山

名古屋市天白区植田一―三一―一
全久寺内
〒468-0051 〇五二(八九三)九二九〇
FAX 〇五二(八九三)九二九〇

謹 賀 新 年

臨濟宗南禪寺派

宗務総長 後藤 憲雄

京都市左京区南禪寺福地町八六
〒606-8435 〇七五(七七二)〇三六五
FAX 〇七五(七七二)六九八九
<http://www.nanzennet>
E-mail:info@nanzennet

愛媛県仏教会

会長 御木 徳久

副会長 内藤 卓洲

同 福村 俊弘

事務局長 怒和 智幸

愛媛県松山市安城寺町二二七二
安祥寺内 愛媛県仏教会事務局
〒791-8006 〇八九(九七九)〇〇六九

公益社団法人 全日本仏教婦人連盟

名誉会長 鷹司 誓玉

理事長 末廣 久美

事務局長 林 恵智子

東京都渋谷区千駄ヶ谷 四一五―十一―二〇五
〒151-0051 〇三(五七七二)〇六七七
FAX 〇三(五七七二)〇六七七
<http://jbwfjp>
E-mail:info@jbwfjp

公益財団法人 国際仏教興隆協会

名誉会長 塩川 正十郎

印度山 半田 孝淳
日本寺竺主

理事長 安田 暎胤

事務総長 正本 乗光

役員 一同

東京都目黒区中目黒五―二四―五三
〒153-0061 〇三(三七二一)七六〇八
FAX 〇三(三七二一)七六七三
<http://www.ibba.jp/>
E-mail:jimukyoku@ibba.jp

聖観音宗 浅草寺

貫首 清水谷 孝尚

東京都台東区浅草一―三―一
〒111-0032 〇三(三八四二)〇一八一
FAX 〇三(三八四五)六九三三

孝道教団

統理 岡野 正純

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221-0064 〇四五(四三二)二二〇一
FAX 〇四五(四三四)二一八八

真言宗大覚寺派宗務庁 大本山 大覚寺

管門 長跡 黒沢 全紹

京都市右京区嵯峨大沢町四
〒616-8411 〇七五(八七二)〇〇七一
FAX 〇七五(八七二)〇〇五五

総本山 根来寺

新義真言宗宗務所

和歌山県岩出市根来二二八六
総本山 根来寺内
〒649-6202 〇七三六(六二二)一四四四
FAX 〇七三六(六二二)一〇四四

大本山 須磨寺

貫主 小池 弘三

神戸市須磨区須磨寺町四一六―八
〒654-0071 〇七八(七三二)〇四一六

真言宗中山寺派 大本山 中山寺

宝塚市中山寺二丁目十一―一
〒665-8588 〇七九七(八七〇)〇二四
FAX 〇七九七(八七〇)九八七七
<http://www.nakayamaderator.jp>

東寺真言宗

宗務総長 橋本 尚信

京都市南区九条町一
東寺真言宗宗務所
〒601-8473 〇七五(六七二)三七一七
FAX 〇七五(六六一)六八五六

西山浄土宗

総本山 光明寺

京都府長岡京市粟生西条の内 二六番地の一
〒617-0811 〇七五(九五五)〇〇〇二
FAX 〇七五(九五三)二二六四
<http://www.komyo-ji.or.jp/>

時宗宗務所

宗務総長 高木 貞歡

神奈川県藤沢市西富一―八―一
遊行寺内
〒251-0001 〇四六六(二三三)七二七六

年 新 賀 謹

<p>臨濟宗円覚寺派</p> <p>大本山 円覚寺</p> <p>鎌倉市山ノ内四〇九 〒247-8503 〇四六七(二二)〇四七八 http://www.engakuji.or.jp/</p>	<p>臨濟宗相国寺派</p> <p>大本山 相国寺</p> <p>京都市上京区今出川通烏丸東入 相国寺門前町七〇一番地 〒602-0898 〇七五(三三)〇三〇一 FAX 〇七五(三三)三三九九 http://www.shokoku-ji.jp E-mail:shokoku@d9.dion.ne.jp</p>	<p>北海道仏教会連盟</p> <p>会長 黒田正宣</p> <p>札幌市中央区北三条西十九丁目二一 浄土真宗本願寺派北海道教区教務所内 〒060-0003 〇一一(六一)九六二三</p>
<p>茨城県仏教会</p> <p>会長 長松本一浩</p> <p>茨城県筑西市申一六八 蔵福寺 〒308-0021 〇二九六(二四)〇一四九 FAX 〇二九六(二五)五九〇九</p>	<p>岐阜県仏教会</p> <p>会長 長橘正信</p> <p>岐阜市西野町三一 岐阜西別院在会所西側入口 〒500-8882 〇五八(二六)七八〇三 FAX 〇五八(二六)七八〇三 http://bukkyogifunet/</p>	<p>静岡県仏教会</p> <p>会長 長水谷彰道</p> <p>静岡県静岡市清水区入江二二二三〇 慈雲禪寺 〒424-0831 〇五四(三六)一四八九</p>
<p>滋賀県仏教会</p> <p>会長 長西村岡紹</p> <p>滋賀県大津市坂本五一一三一 総本山西教寺内 滋賀県仏教会事務局 〒520-0113 〇七七(五七)八〇〇一三 FAX 〇七七(五七)八三四一八</p>	<p>岡山県佛教会</p> <p>会長 長漆間宣隆</p> <p>岡山県久米郡久米南町里方八〇八 浄土院内 〒709-3602 〇八六七(二八)二三六四</p>	<p>全日本仏教青年会</p> <p>理事長 村山博雅</p> <p>大阪府豊中市南桜塚一―二二一七 東光院内 〒561-0882 〇六六八五(三)〇〇二二 http://www.jypane.jp/</p>
<p>日本仏教鑽仰会</p> <p>理事長 中山静磨</p> <p>東京都板橋区舟渡四―十五―一 〒174-0041 〇三三九六七(三)三八八</p>	<p>日韓仏教交流協議会</p> <p>会長 長宮林昭彦</p> <p>東京都渋谷区恵比寿南二―十五―二 〒150-0022 〇三三七(一三)一一二七 FAX 〇三三六(三六)九九四七二一</p>	<p>天台寺門宗 妙見宗 真言宗善通寺派 真言宗山階派 真言宗泉涌寺派 真言宗犬鳴派 浄土宗西山禅林寺派 浄土宗西山深草派 真宗佛光寺派 真宗興正派</p>

- 真宗本辺派
臨濟宗建長寺派
臨濟宗天龍寺派
臨濟宗東福寺派
法華宗真門流
本門法華宗
法相宗
聖徳宗
律宗
青森県仏教会
岩手県仏教会
栃木県仏教会
群馬県仏教連合会
千葉県仏教会
新潟県仏教会
石川県仏教会
福井県仏教会
山梨県仏教会
長野県仏教会
京都府仏教会
兵庫県仏教会
鳥取県仏教連合会
島根県仏教会
(社)徳島県仏教会
香川県仏教会
高知県仏教会
福岡県仏教連合会
長崎県仏教連合会
宮崎県仏教連合会
沖縄県仏教会
(公社)日本仏教保育協会
東京ブレイストクラブ
(一社)仏教情報センター
(社)在家仏教協会

謹賀新年

賛助会員

【特別会員】

大本山東福寺 遠藤 楚石
 蓮華院誕生寺 川原 英照
 尾道仏教会 松岡 昭禮
 實相山中央寺 南澤 道人
 信州善光寺 若麻績信昭
 妙見閣寺 竹内 祥起
 社団法人 仙台仏教会

【団体会員】

京セラ株式会社
 東映株式会社
 株式会社損害保険ジャパン
 大和証券株式会社 営業サポート部
 野村證券株式会社 金融公共公益法人部
 朝日ビジネスソリューション株式会社 (コンサルティンク業)
 株式会社JTBグローバルトータル第一事業部 (旅行業)
 トップツアー株式会社 (旅行業)
 近畿日本ツーリスト株式会社 (旅行業)
 東日観光株式会社 (旅行業)
 株式会社ビーエス観光 (旅行業)
 株式会社わらび座 (劇団)
 財団法人ライフプランニングセンター (医療関連)
 日本テンプルン株式会社 (寺院経営コンサルト)
 株式会社信天堂 (印刷業)
 株式会社図書印刷同朋舎 (印刷業)
 ティケイヘンデルアート (印刷業)
 株式会社鎌倉新書 (出版業)
 株式会社四季社 (出版業)
 株式会社オメガコム (翻訳、出版物企画・制作)
 株式会社アイ・エイト・エフ (出版物企画・制作)
 新日本法規出版株式会社 (法規図書出版)
 有限会社ルンビニ (保険代理店)
 株式会社京念珠刑部 (念珠製造・販売)
 株式会社京扇堂 (扇子製造・販売)
 株式会社公益社 (葬祭業)
 株式会社ダイセイ (総合商社)
 株式会社いせや (石材業)
 株式会社安震 (石材業)

【個人会員】

学校法人真宗大谷学園
 仏教看護・ビハーラ学会
 全日本宗教用具協同組合
 全日本葬祭業協同組合連合会
 岩手県葬祭業協同組合
 埼玉葬祭業協同組合
 東京都葬祭業協同組合
 神奈川県葬祭業協同組合
 岐阜県葬祭業協同組合
 名古屋葬祭業協同組合
 愛知県葬祭業協同組合
 京都中央葬祭業協同組合
 大阪葬祭業協同組合
 大阪市規格葬儀指定店事業協同組合
 徳島県中央葬祭業協同組合
 福岡県葬祭業協同組合
 長崎県葬祭業協同組合
 社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会
 一般社団法人 日本石材産業協会

信松院	西村 輝成 (東京都)	鈴木 政二 (自由民主党参議院議員)
大蔵寺	佐藤 直道 (神奈川県)	谷川 秀善 (自由民主党参議院議員)
金蔵院	眞田 有快 (神奈川県)	中川 雅治 (自由民主党参議院議員)
龍泉寺	壽山 良光 (神奈川県)	二之湯 智 (自由民主党参議院議員)
圓満寺	西郊 良光 (神奈川県)	早坂 義弘 (自由民主党東京都議員)
正泉寺	野澤 隆幸 (神奈川県)	赤松 広隆 (民主党参議院議員)
玄向寺	萩須 眞教 (長野県)	枝野 幸男 (民主党参議院議員)
本光寺	木村 光正 (静岡県)	大串 博志 (民主党参議院議員)
十楽寺	井口 真躍 (滋賀県)	高木 義明 (民主党参議院議員)
光泉寺	松山 公顯 (愛知県)	原口 一博 (民主党参議院議員)
寂光院	松平 實胤 (愛知県)	前原 誠司 (民主党参議院議員)
太福寺	佐久間大道 (真言宗御室派宗会議員)	松本 剛明 (民主党参議院議員)
精明寺	正田 哲壽 (鳥取県)	三日月大造 (民主党参議院議員)
誓光寺	村上 智真 (山口県)	大塚 耕平 (民主党参議院議員)
鈴木 朝雄 (東京都)		大野 元裕 (民主党参議院議員)
佐藤 泰之 (神奈川県)		斎藤 嘉隆 (民主党参議院議員)
山崎 忠征 (愛知県)		佐藤 公治 (民主党参議院議員)
櫻田 佳正 (京都府)		鈴木 寛 (民主党参議院議員)
安田 容造 (京都府)		白 眞勲 (民主党参議院議員)
平野 泰寛 (和歌山県)		林 久美子 (民主党参議院議員)
田中 悠樹 (長野県)		福山 哲郎 (民主党参議院議員)
和心庵 井上美和子 (佐賀県)		藤谷 光信 (民主党参議院議員)
岩屋 毅 (自由民主党参議院議員)		前田 武志 (民主党参議院議員)
金子 恭之 (自由民主党参議院議員)		浅尾慶一郎 (みんなの党参議院議員)
上川 陽子 (自由民主党参議院議員)		自見庄三郎 (国民新党参議院議員)
河村 建夫 (自由民主党参議院議員)		大西 孝典 (前参議院議員)
高村 正彦 (自由民主党参議院議員)		楠田 大蔵 (前参議院議員)
下村 博文 (自由民主党参議院議員)		小宮山洋子 (前参議院議員)
関 芳弘 (自由民主党参議院議員)		仙谷 由人 (前参議院議員)
高市 早苗 (自由民主党参議院議員)		田島 一成 (前参議院議員)
西川 京子 (自由民主党参議院議員)		中川 秀直 (前参議院議員)
野田 毅 (自由民主党参議院議員)		長勢 甚遠 (前参議院議員)
平沢 勝榮 (自由民主党参議院議員)		平岡 秀夫 (前参議院議員)
保利 耕輔 (自由民主党参議院議員)		松本 謙公 (前参議院議員)
牧島かれん (自由民主党参議院議員)		横光 克彦 (前参議院議員)
赤石 清美 (自由民主党参議院議員)		和田 隆志 (前参議院議員)
岩城 光英 (自由民主党参議院議員)		佐藤 泰介 (前参議院議員)
片山さつき (自由民主党参議院議員)		田名部匡省 (前参議院議員)
小坂 憲次 (自由民主党参議院議員)		
佐藤ゆかり (自由民主党参議院議員)		

(敬称略)

事務総局録事

十一月(十六日〜三十日)

十六日▼国際仏教興隆協会第八回文化講座
参加(青山こどもの城)

▼第三回社会人権審議会開催

▼(株)大陸旅遊永田氏・田村氏来局

十九日▼民主党参議院議員藤谷光信秘書
尾氏来局

▼民主党職員朝賀氏来局

二十日▼第二回理事会開催(京都 浄土宗
宗務庁)

▼理事・監事懇談会開催(知恩院和
順会館)

▼朝倉書店瀧原氏来局

▼D A T新藤氏来局

二十一日▼B N N企画委員会出席(庭野平
和財団)

▼無料法律相談開催

▼自由民主党参議院議員鈴木政二
氏来局

▼ダビントインターナショナル(株)
植木氏来局

二十二日▼第二十九回仏教主義学校連盟弁
論大会出席(立正大学石橋湛山
記念講堂)

▼東日本大震災指定寄附金制度運
用説明(真言宗智山派別院真福寺)

▼大塚商会池沢氏来局

▼スパーサンガ林氏・柳下氏来局

二十四日▼日本仏教保育協会前理事長上村
映雄師通夜参列(東京 保善寺)

▼宝文堂出版来局

▼東京プリンスホテル秋山氏来局

▼テイケイヘンデルアート黒塚氏来局

▼綜通小栗氏来局

二十七日▼局内会議

▼シンポジウム「放射能被害とは」
講師松井英介氏来局

▼自由民主党政権公約に関する
「政策懇談会」参加(自由民主
党本部)

▼第四十七回大阪府佛教徒大会出
席(ホテル日航大阪)

▼オメガコム五十嵐氏来局

▼テイケイヘンデルアート黒塚氏来局

▼厚生労働省亀島人道調査室長来局

▼オメガコム五十嵐氏来局

▼野村證券塚寄氏来局

三十日▼公益法人協会創立四十周年記念シ
ンポジウム参加(リーガルロイヤ
ルホテル東京)

▼新宗連主催第一回「現代社会と信
教の自由」公開講座参加(國學院
大學 常盤松ホール)

▼シンポジウム「放射能被害とは」
講師鎌仲ひとみ氏来局

▼D A T新藤氏来局

▼テイケイヘンデルアート黒塚氏来局

十二月(一日〜十五日)

三日▼明照会館会議出席

▼真宗大谷派東京宗務出張所長田代
氏・史陀氏来局

▼真宗大谷派東京宗務出張所主催年末
懇談会出席(桃花源)

▼真宗大谷派東京宗務出張所主催年末
懇談会出席(桃花源)

四日▼本会半田会長・小林理事長対談取材
(天台宗務庁)

▼自由民主党職員内田氏来局

▼東日本大震災支援検討会議開催

▼第三回国際交流審議会開催

五日▼日本宗教連盟第七回幹事会出席(本
会会議室)

▼全日本葬祭業協同組合連合会と懇談
会(品川プリンスホテル)

▼東京都仏教連合会成道会参加(よみ
うりホール)

七日▼大和証券主催「公益社団・財団法人
セミナー」参加(大和証券本社)

▼関西支局会議開催(真宗大谷派宗務所)

十一日▼B N N企画委員会出席(本会会議室)

▼A B S山中氏来局

▼厚生労働省泉審議官・亀島人道調
査室長来局

▼局内会議

▼無料法律相談開催

十四日▼第三回宗教教育推進委員会開催

▼第三回宗教教育推進委員会開催

新加盟団体紹介

社団法人 在家仏教協会

加盟日・平成二十四年十一月二十日

ご加盟いただき、誠に有難うございま
した。

賛助会員新会員紹介

〔団体会員〕 鎌倉新書

株式会社 鎌倉新書 (敬称略)

ご入会いただき、有難うございました。
本会では、引き続き皆様のご入会をお
待ちしております。賛助会員要項、申込
みの流れ、その他詳細につきましては、
本会HPをご覧ください。申込書は本会
HPからダウンロードが可能です。

哀悼

麻生文雄師(本会十七期及び二十
五期副会長)

五期副会長)

総本山醍醐寺前座主・真言宗醍醐
派前管長

十一月二十六日遷化 八十七歳

—宗教のすべてがわかる、はじめての総合事典—

【大好評発売中!】

宗教の事典

山折哲雄監修

川村邦光・市川 裕・大塚和夫・奥山直司・山中 弘編集

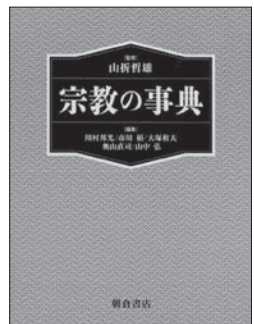
B5判 948頁 定価26250円(本体25000円)

世界の宗教の発祥・展開・教義・聖典・人物—

世界各地で営まれる宗教文化の過去・現在—

宗教の現代的役割とその未来—

〔内容〕世界の宗教潮流/世界
各地域の宗教の現在/日本
宗教/世界宗教の聖典/カリ
スマ・聖人列伝/宗教研究の
系譜/現代社会と宗教/宗教
の基礎用語集



朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29
電話 営業部(03)3260-7631 FAX(03)3260-0180
http://www.asakura.co.jp

花まつりポスターがリニューアルしました

毎年大変ご好評をいただいております、花まつりポスターのデザインがリニューアルいたしました。人気の「お稚児」「仏像」や、今回より「白象」をモチーフにしたポスターもございます。また、サイズが従来の半分になりました短冊型ポスターもご用意しております。

皆様の花まつりに是非ご活用ください。



① 蓮と仏像



② お稚児



③ 白象と仏旗



④ 白象と仏旗
(短冊)

お申し込み方法

【ポスター情報詳細】

- 種類：4種類 ① 蓮と仏像 ② お稚児 ③ 白象と仏旗 ④ 白象と仏旗（短冊）
- サイズ：縦594mm 横420mm (①・②・③)
縦594mm 横210mm (④のみ)

○価格：1枚 50円（但し④のみ30円）

※別途送料及び梱包料がかかります。

※10枚以上より受付（9枚以下は納期にお時間を頂戴し、送料・梱包料が異なります。）

※2種類、3種類混合でのお申し込みも可能です。

【配送方法】 宅配便にて、お届けいたします。ご希望の日時をご指示いただけます。

○梱包料：1梱包200枚まで800円

○配送料：関東 1,250円・近畿／東北 1,350円・四国／中国 1,500円・九州／北海道 1,650円

（例；400枚を関東圏に配送の場合
ポスター代金20,000円 + (配送料1,250円 + 梱包料800円) × 2梱包 = 24,100円）

※梱包料・配送料は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※配送方法については、必ず本会HPにてご確認ください。

【お申し込み方法】 本会HPより申込用紙をダウンロード・印刷し、FAXにてお申し込みください。

【お支払い】 ポスター発送後、別便にて全日本仏教会より請求書と振込用紙をお送りします。

※全てのポスターにおいて、在庫がなくなり次第、予告なく頒布終了とします。予めご了承ください。

申込開始：2013年1月17日(木) 詳細はHPをご覧ください